

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本語
科目基礎情報						
科目番号	0055		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	日本語上級話者への道, みんなの日本語中級 I, 聴くトレーニング 基礎編・応用編, 留学生のための文章表現のルール					
担当教員	黒瀬 泉					
到達目標						
読む・書く・話す・聞くの4技能において適切な表現や語彙を身につけ、日本社会においてよりよい人間関係が構築できるようにする。異文化に対する理解をより深め、自国と日本の架橋になる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
読む	論理的な文章が読め、理解できる。		文章の読解と掲示板の内容が理解できる。		文字としては読めるが、理解できない。	
書く	適切にレポートが書ける。		日常を適切に文章化できる。		文字の書き間違いが多い。	
話す	社会的な話題の論理的な説明、意見を言える。		日常の出来事について適切に話せる。		単語の羅列状態でしか表現できない。	
聞く	講義内容が聞き取れ、理解できる。		指示や日常会話が聞き取れる。		聞き取れず、コミュニケーションできない。	
学科の到達目標項目との関係						
専門 A1 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E2						
教育方法等						
概要	1. 会話における適切な表現のマスター、言語外行動の理解及び、読解により語彙数の増加。 2. 視聴覚教材を活用し、リスニング力を強化する。 3. 「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能のレベルアップを図る。 4. 授業のはじめに毎回10分程度、速読、語彙の拡充、またはリスニング等をやる。 5. 関連科目は、日本事情、倫理・社会、政治・経済、日本史、世界史、国語である。					
授業の進め方・方法						
注意点						
実務経験のある教員による授業科目						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 【日本語上級者への道】 第1課「自己紹介で好印象を与えよう」		自分を印象づける話し方や場面にあった話し方ができる。	
		2週	第4課「町の様子を話そう」		話の構成を考えて話題ごとに話せる。	
		3週	第4課「町の様子を話そう」		話の構成を考えて話題ごとに話せる。	
		4週	第5課「動きの順序を説明しよう」		動作の流れを説明する。	
		5週	第5課「動きの順序を説明しよう」		動作の流れを説明する。	
		6週	第8課「比べて良さを伝えよう」		比較しながら説明する。また、場面に適した説明表現を使いこなす。	
		7週	第8課「比べて良さを伝えよう」		比較しながら説明する。また、場面に適した説明表現を使いこなす。	
		8週	第10課「最近の出来事を話そう」		出来事を分かりやすく伝えることができる。引用を効果的に使える。	
	2ndQ	9週	第10課「最近の出来事を話そう」		出来事を分かりやすく伝えることができる。引用を効果的に使える。	
		10週	第11課「健康について話そう」		因果関係を説明する。社会的な話題を論理的に話せる。	
		11週	第11課「健康について話そう」		因果関係を説明する。社会的な話題を論理的に話せる。	
		12週	第12課「将来の夢を語ろう」		理由背景とともに考えを説明できる。抽象的な表現を使いこなせる。	
		13週	第12課「将来の夢を語ろう」		理由背景とともに考えを説明できる。抽象的な表現を使いこなせる。	
		14週	【みんなの日本語中級 I】 第1課「お願いがあるんですが」		頼みにくいことを丁寧に頼める。	
		15週	第1課「お願いがあるんですが」		頼みにくいことを丁寧に頼める。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	第3課「遅れそうなんです」		事情を説明して、丁寧に謝ったり、変更をお願いしたりできる。	
		2週	第3課「遅れそうなんです」		事情を説明して、丁寧に謝ったり、変更をお願いしたりできる。	
		3週	第9課「どこが違うんですか」		買いたいものについての希望や条件を伝える。	
		4週	第9課「どこが違うんですか」		買いたいものについての希望や条件を伝える。	
		5週	第11課「どこかお勧めのところ、ありませんか」		提案できる。提案を受け入れられる。	
		6週	第11課「どこかお勧めのところ、ありませんか」		提案できる。提案を受け入れられる。	
		7週	【留学生のための文章表現ルール】 第4課「呼応」		呼応表現を正しく使いこなせる。	

		8週	第4課「呼応」	呼応表現を正しく使いこなせる。
	4thQ	9週	第5課「文末表現の調整」	主観的、客観的な表現を使い分ける。
		10週	第5課「文末表現の調整」	主観的、客観的な表現を使い分ける。
		11週	第10課「書き言葉らしさ」	文章の中に混ざっている話し言葉に気づき、適切な書き言葉に直せる。
		12週	第10課「書き言葉らしさ」	文章の中に混ざっている話し言葉に気づき、適切な書き言葉に直せる。
		13週	第15課「接続詞と文章の構成」	接続詞の使い方を練習し、文と文をなめらかにつなぐことができる。
		14週	第15課「接続詞と文章の構成」	接続詞の使い方を練習し、文と文をなめらかにつなぐことができる。
		15週	第15課「接続詞と文章の構成」	接続詞の使い方を練習し、文と文をなめらかにつなぐことができる。
		16週		

評価割合					
	試験	レポート	口頭発表	態度	合計
総合評価割合	70	10	20	0	100
基礎的能力	70	10	20	0	100
主体的・継続的な学習意欲	0	0	0	0	0
態度・志向性（人間力）	0	0	0	0	0